

# 諫早市教育委員会会議録

平成28年第5回（4月定例）

# 平成28年第5回（4月定例）教育委員会

1 日 時 平成28年4月27日（水） 14時00分～15時40分

2 場 所 諫早市役所 7階 会議室7-1

3 出席者 委員長 大石 竜基  
委 員 緒方 正親  
委 員 秀島 はるみ  
委 員 宮本 峻光  
教育長 平野 博

4 会議に出席した事務職員

|        |       |
|--------|-------|
| 教育次長   | 井上 良二 |
| 教育総務課長 | 田島 正孝 |
| 学校教育課長 | 福元 英典 |
| 生涯学習課長 | 村川 美詠 |

5 議題

教育長の報告

報告第 3号 臨時代理の報告について(諫早市少年補導員の委嘱について)

議案第11号 諫早市障害児就学指導委員会委員の委嘱について

議案第12号 諫早市少年センター運営協議会委員の委嘱について

諫早市教育委員会委員長の選挙について

諫早市教育委員会委員長職務代理者の指定について

## 会議録署名人の指名

大石委員長と緒方委員を会議録署名人に指名

## 議事の非公開

報告第3号及び議案第11号、議案第12号は、人事案件であるため非公開

## 会議録の承認

- 平成28年第4回（3月定例）教育委員会の会議録について  
質問・意見なし  
原案どおり可決

## 教育長等の報告の要旨

### 1 教育長の報告

#### ○平成28年度児童生徒数について

平成28年度児童生徒数が4月7日に確定した。小学校児童数は7,718人で27年度の学校統計と比較すると7,796人から76人の減となった。また、長里小が全校児童60人で新たに2年生と3年生が複式学級編成となり、市内の複式校は大草小35人、遠竹小25人の3校となった。中学校生徒数は、3,660人で27年度の3,700人から40人の減である。小・中学校の合計では、11,378人で昨年の11,496人より118人の減となっている。

なお、特別支援学級は大幅に増加して昨年は小学校で38学級、中学校で18学級であったのが、小学校48、中学校21の合計69学級となっている。県立、私立等の所管外中学校への進学者が140人で、諫早高校付属中に77人、日大中に36人、青雲中11人、純心中4人などである。

市立幼稚園については、4月11日現在、募集定員250人に対し2園で158人、昨年は168人で10人の減となっている。なお、市立幼稚園保

育料については、制度上の多子世帯軽減措置の一部見直しを行ったが、保育料は平成26年度以前の入園者が6,300円、27年度以後の入園者が6,900円の前年同額としている。

○長崎県市町村教育委員会連絡協議会理事会について

22日の午前に、長崎県市町村教育委員会連絡協議会の合同理事会が開催された。各市及び郡部地区代表町の委員長等が理事、教育長は常任理事である。平成27年度の事業報告、決算及び28年度の役員選出と事業案、予算案が審議され、事務局がある大村市の教育委員代表が会長に引き続き選出され、新年度は佐古順子委員が会長として選出。私は4年ぶりに監査に選出された。その他の議案も了承され総会に諮られることになった。

今年度は、5月24日（火）に大村市コミュニティセンターで総会、11月18日（金）に佐世保市教育センターで研究大会が開催される。なおこの合同理事会の中で理事及び常任理事の役員数が協議会会則と一致しないことや全国教委連代議員の選出について規定がないことなどから今年一年かけて検討することになった。また、本会事務局は現在大村市であるが、平成30年6月からの4年間は、諫早市が事務局担当となる予定である。

○長崎県・市町教育委員会合同会議について

22日の午後は、長崎県・市町教育委員会合同会議があり、28年度の県教育庁の主要施策説明のあと「地域とともにある学校づくりの推進について」をテーマに意見交換会が開催された。佐々町の事例発表など各地域の事例報告の中で諫早市の森山町生活体験塾あすなろの通学合宿の事例を報告した。

○県・市町教育委員会スクラムミーティングについて

合同会議のあと県教育長と市町教育長とのスクラムミーティングが開催された。テーマは「学力調査を活用した学力向上について」と「いじめ問題への対応について」であった。学力調査を活用した学力向上については、各市町からそれぞれの対応方針についての報告があり、どこの市町も学力の2極化や低学年からの指導の大切さ、教師の資質など共通した問題認識であった。また、いじめ問題には初期対応の重要性について県から報告があった。

○長崎県都市教育長協議会について

これらの会議に先立ち、21日には県都市教育長協議会が開催され、協議会役員等議事後の意見交換のなかで ①熊本地震における被害状況 ②義務教育学校の設置予定について ③中学生の英語力向上に対する取組状況 ④フッ化物洗口の状況について ⑤給食センター設置についてのテーマで意見交換を行ったところである。本協議会は県内各市教育長が参加する貴重な情報交換の場であり、特に中核市である会長市の長崎市から最新の文科省情報を頂くなど得るものが非常に大きい会議の場となっている。これらの情報を有効に活用したい。

《教育長の報告に対する質問・意見》

[委員]

特別支援教育室の説明の中で、障害という言葉が使われたが、この障害とは、知的障害と精神障害ということか。

[教育長]

身体および知的の障害が中心ではあるが、学校現場では発達障害も含めて支援を行っている。

2 教育次長の報告

○熊本県地方地震の被害及び対応状況について

《教育次長の報告に対する質問・意見》

[委員]

学校施設の被害状況一覧の中で、喜々津中の天井パネルの破損に対し、経過観察となっているが落下する可能性はないのか。

[教育次長]

落下の危険はないということを現地で確認している。

[委員]

現在、学校の耐震化工事を行っているが、どの程度の地震の揺れに対応できるのか。地盤を含めた耐震となっているのか。

[教育総務課長]

建物の構造的な耐震性能を示す数値として IS 値という指標があり、IS 値が高いほど耐震性が高くなっている。国土交通省では、0.6 以上の数値が義務化されており、文部科学省では 0.7 以上を求めている。諫早市の場合は、0.7 以上の数値となるよう耐震工事を行っている。IS 値の指標は、地盤の状態も考慮した数値となっている。

[教育長]

基本的には、震度 6 強から 7 の地震に耐えられる強度を保つようにしている。

[委員]

今回の地震は、これまでの想定を超える地震で、震度 7 強が 2 回起こった。震度 7 で耐えられるものも 2 回目には震度 6 で潰れてしまう。今回のような地震が今後起こったとした場合、学校施設や公民館が避難所として耐えられる施設であるのか、検証が必要ではないか。

[教育長]

今回の地震を受けて、耐震に関する新たな基準等が今後国から示されると思うので、それらの情報を収集しながら対応していきたい。

[委員]

中央公民館の窓ガラスの破損状況はどの程度なのか。

[教育長]

2・3階の窓ガラスが9枚破損し落下した。昭和48年建築当時の窓ガラスで、窓枠をセメントで固めてあり柔軟性がなく歪んで割れたようだ。

[委員]

飛散防止のフィルムを貼るだけでも違うのではないか。

[教育長]

今回破損しなかった窓ガラスも含め、飛散防止の対策を講じたい。

[委員]

熊本の小・中学校も耐震化をしているが、崩壊などはなかったのか。

[教育長]

熊本は九州でも耐震化率は1番高い方であるが、大きな地震が2回あった影響なのか、補強した筋交いが落ちたりしている学校がいくつかあったようだ。

[委員]

今回の地震に伴って、各学校では避難児童・生徒の受け入れを行っているが、子どもたちの心のケアに対する配慮はどうなっているか。

[学校教育課長]

各学校に確認したところ、子どもたちは普通の状態だが、保護者のほうが心配だという報告を受けている。必要であれば心の相談員等を派遣するよう体制は整えている。

### 3 諫早市教育委員会委員長選挙について

指名推薦によることに決定

緒方委員推薦の意見あり

緒方委員を委員長に決定

### 4 諫早市教育委員会委員長職務代理者の指定について

秀島委員を委員長職務代理者に指定

#### 《教育総務課長の報告》

○平成28年度長崎県市長村教育委員会連絡協議会総会等について

○学校給食の食物アレルギー事故について

[委員]

アレルギー対策の一つとして、ごく微量から食べさせてアレルギーを克服する減感作療法というものがある。各家庭においてこのような対策は行っているのか。

[教育長]

市内に専門の医師が少ないという現状はあるが、アレルギー対応の子どもについては、医師の診断・指導のもとに対応するようにしている。

[教育総務課長]

減感作療法を含めた今後の対応については、市が設置しているアレルギー対応委員会の中でも研究・検討していきたい。

[委員]

ごく微量の乳がアレルギーの原因なのであれば、乳が入っていない食品を使うことはできなかったのか。

[教育総務課長]

今回の場合、既製品の加工食品に乳が含まれていた。確かに乳が入っていない食品があれば代替食を出す必要もなくなる。そのような食品があるのか確認したい。

[委員]

対応食の配膳に対するチェック体制の改善はされているが、今回のように献立の内容に対するチェック体制はどうなっているのか。

[教育総務課長]

食品に含まれる成分チェックが手薄であったと認識している。このようなことがないようにチェック体制を強化していきたい。

《学校教育課長の報告》

○平成28年度運動会・体育大会について

○平成28年度諫早市学級編制児童生徒数について

[委員]

運動会などでのピラミッドを含む組体操の実施状況はどうなっているか。

[学校教育課長]

大阪であった10段ピラミッドを実施している学校はない。文科省や県教委からも、児童・生徒に過重負担となるような種目は実施しないよう通知がされている。

《生涯学習課長の報告》

○平成28年度「少年の主張」諫早大会について

## 議 事 の 概 要

《非公開議事》

- 1 報告第3号 臨時代理の報告について（諫早市少年補導員の委嘱について）  
生涯学習課長説明  
削除  
了承
  
- 2 議案第11号 諫早市障害児就学指導委員会委員の委嘱について  
学校教育課長説明  
削除  
原案どおり可決
  
- 3 議案第12号 諫早市少年センター運営協議会委員の委嘱について  
生涯学習課長説明  
削除  
原案どおり可決

## その他

教育総務課長

定例教育委員会等の日程について説明

15時40分閉会



会議録署名（平成28年第5回（4月定例）教育委員会）

会議録署名委員

---

会議録署名委員

---